



LIBRARY NEWS

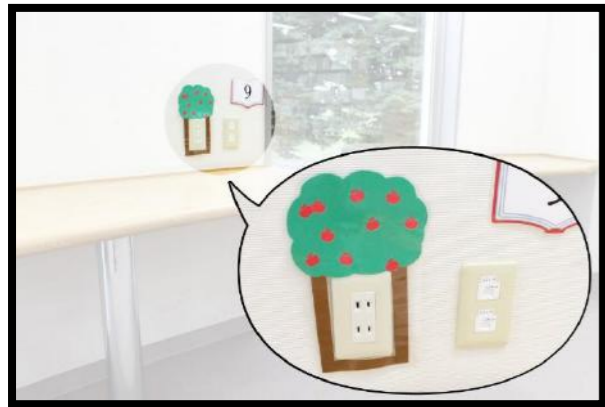
発行: 2022/10/20

VOL.5

ウォールステッカーを作りました!

盛岡大学図書館内には情報機器を使った学習などに役立てられるようにコンセントが設置してあります。しかし、コンセントの挿し口が分かりにくいという声があったため、図書館サポーターがウォールステッカーを作成し、挿し口周辺に貼ったことで挿し口がどこなのか分かりやすくなりました。

分かりやすく見つけやすいデザインを考え制作するのは大変でしたが、楽しく活動できました。ぜひ、ウォールステッカーを目印にコンセントの挿し口を見つけて利用してください。



盛岡大学図書館では、貸出できる情報機器や各自持ち込みの電子機器などを使いながら学習を行うことができるようコンセントの利用を許可しています。

あくまで、**学習、研究目的での使用**が原則となりますのでスマホの充電など個人的な目的のための使用はご遠慮ください。



ミニビブリオバトル開催!



図書館サポーター内でミニビブリオバトルを開催しました。実は、本好きの集まりであるにもかかわらず、ビブリオバトルに参加したことのない図書館サポーターがほとんどでした。そこで、まずは発表時間の短いミニビブリオバトルに挑戦しました。テーマは「絵本」です。

今回は3つの班に分かれてそれぞれ行いました。現役大学生が選ぶ絵本とはどのようなものなのか、選んだ理由や本の内容も添えて紹介します。

ビブリオバトルとは?

ビブリオバトルとは、誰でも開催できる本の紹介コミュニケーションゲームのことです。「人を通して本を知る。本を通して人を知る。」というキャッチコピーのもと、全国の様々な場面で行われています。大学生の全国大会もあります!

ビブリオバトルを行う際のルール

参加者が面白いと思った本を持ち合い、その本の良いところや面白いところなどを自由に5分間紹介し、他の参加者がその発表についての質問を2~3分間行い、1番読みたいと思った本を投票で決めるというルールです。

ミニビブリオバトルとは?

ミニビブリオバトルとは、発表時間を3分間に短くしたものです。

自分のお気に入りの本を友達に紹介するチャンス!

本があればどんな人でも出来る簡単なものなので、これを読んでいるあなたも挑戦してみてもいいかな?





～チャンプ本紹介～

著者名
『書名』
出版社,出版年
請求記号
資料ID
①選んだ理由
②どんな内容か



QRコードを読み込むと本の情報がわかるよ！



・バトラー:H.Rさん(児童教育学科)

そのだえり作
『みならいサンタ』
文溪堂, 2019
E913 || So45
000261271



～選んだ理由～

もともとクリスマスが好きで、題名にサンタという文字が入っており目が惹かれたため、この本を選んだ。

～あらすじ～

主人公である見習いサンタのみなちゃんは、師匠のサンタさんと寝ている子どもたちのところにプレゼントを届けに行く。子供たちを起こさないように順調にプレゼントを届けるみなちゃんだが、昇級テストを受けるため一人で届けに行くことになったみなちゃん。果たして、みなちゃんは一人でプレゼントを届け無事昇級テストに合格することができるのだろうか。

・バトラー:T.Mさん(日本文学科)

キリーロバ・ナージャさく；古谷萌, 五十嵐淳子
『からあげビーチ』
文響社, 2021
E913 || Ki53
000268278



～選んだ理由～

浜辺の真ん中からあげが描かれている表紙が可愛らしくインパクトがあったから。また、タイトル『からあげビーチ』から、一体どんな内容なのか興味を惹かれた。

～あらすじ～

からあげくんの家族が、ある日ビーチに遊びにやってくる。そこでからあげくんは、グルテンフリー・大豆ミート等でできたさまざまなからあげと出会う。「からあげ」という観点から、楽しく「食の多様性」を学べる内容となっている。



・バトラー:O.Sさん(児童教育学科)

ジョン・クラッセン作；長谷川義史訳
『どこいったん』
クレヨンハウス, 2011
E933 || Kl1
000233242



～選んだ理由～

絵本の題名が関西弁で衝撃を受けたから。

～あらすじ～

クマがお気に入りの帽子を無くしてしまい、色々な動物に帽子を見なかったか聞いて歩くが誰も見ていないという。けれど、1人だけ怪しい動物がいた事を思い出したクマは…という最後には衝撃的な展開がある話。

・バトラー:T.Sさん(児童教育学科)

京極夏彦作；町田尚子絵；東雅夫編
『いるのいないの』
岩崎書店, 2012
E913 || Ky3
000230493



～選んだ理由～

児童教育学科の友達に紹介されたことがきっかけで読んでみた絵本。ラストのインパクトと、幼児向け絵本とは思えないほどの暗い雰囲気印象的で、ずっと記憶に残っていた。ビブリアバトルでは、本のインパクトや、あっと驚く展開をいかに伝えられるかが重要だ。まさにこの絵本はバトルにピッタリだと思い、選んだ。

～あらすじ～

主人公は、とても古い、おばあさんの家で暮らすことになる。家の高い天井は、小さな窓からあかりが入ってくるだけで、とても暗い場所だ。ある日、主人公である「ぼく」は、天井のくらがりにあるものを見つける。あるものを見てから、「ぼく」は高い天井が怖くて、気になって仕方なくなる。

ぼくは何を見つけたのか、そもそも「あるもの」はいるのかいないのか。暗くゾワゾワとした怖さを味わえる本。





・バトラー:K.Tさん(日本文学科)

コズミック・デブリ作, 宇多田ヒカル訳
『エミリー・ザ・ストレンジ』
メディアファクトリー, 2003
ISBN:9784840107242

～選んだ理由～

最近出会った、大人向きの絵本。ユニークな仕掛けが施されており、読者を飽きさせないから。

～あらすじ～

エミリーという名の女の子の紹介。危なげな雰囲気謎めいた彼女の魅力を存分に伝える。

盛大の図書館にはない本は、請求番号と資料IDの代わりにISBNをいれてるよ！



・バトラー:T.Mさん(児童教育学科)

ジャン・ジオノ原作；フレデリック・バック絵；寺岡襄訳
『木を植えた男』
あすなろ書房, 1989
E959 || G
000070557



～選んだ理由～

ジブリのSNSに本棚の写真が載っていた。その写真を見てみると「木を植えた男」という絵本あり、気になったので読んでみようと思った。

～あらすじ～

主人公である「私」が、羊飼いの老人と出会いました。その老人は木を植え続けている男であった。その努力から森が再生していくという物語。

～あとがき～

以上の6作品が今回のミニビブリオバトルのチャンプ本でした。

なんと今回は、1つの班でそれぞれみんな違う本に投票し、紹介されたすべての本がチャンプ本となった班もありました。このように、予想外のことも起きるミニビブリオバトル！是非皆さんもやってみてくださいね♪



利用案内

11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

開館時間 ... 9:00~19:00 ... 9:00~16:30 ... 休館
 ※開館時間に変更になる場合があります。最新情報は図書館Webサイトを必ずご覧ください。

貸出冊数及び期間

対象	冊数	期間	延長
大学1～3年生 短大生	最大10冊まで	2週間	2週間
大学4年生	最大10冊まで	4週間	2週間
教職員	最大30冊まで	3か月	3か月
卒業生	最大 5冊まで	2週間	2週間
一般の利用	最大 5冊まで	2週間	なし

※実習貸出あります！カウンターにお声がけください。

発行元:盛岡大学図書館

〒020-0694
岩手県滝沢市砂込808番地
library@morioka-u.ac.jp
019-688-5561

Twitter

Webサイト

編集
図書館職員:小島美鈴
日本文学科:長柴侖
佐々木温
児童教育学科:
本間璃胡
大家想良
高橋真優